

わくわく理科実験

たのしく学ぼう!!

科学

伝統

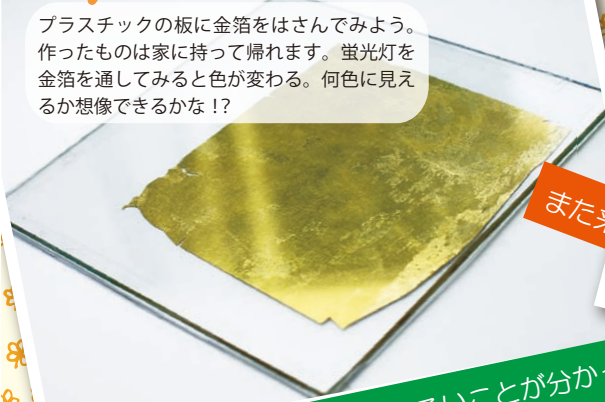
ものづくり

きつなぐ

もの

金
きりかね

プラスチックの板に金箔をはさんでみよう。作ったものは家に持って帰れます。蛍光灯を金箔を通してみると色が変わる。何色に見えるか想像できるかな!?



また来たいと思いました!

6つの立方体。大きさが一緒なのに、重さが違う。鉄とアルミと銅では、大きさが一緒なら、どれが一番重いか体験してみよう。

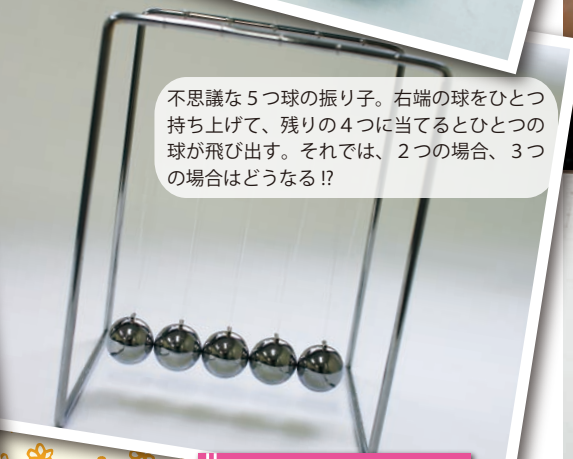


今日の実験で色々おもしろいことが分かった!



自分の目で見たり、手でさわってみると、頭で考えていたこととは違った驚きや発見との出会いがあるかもしれません。

不思議な5つの振り子。右端の球をひとつ持ち上げて、残りの4つに当たるとひとつの球が飛び出す。それでは、2つの場合、3つの場合はどうなる!?



参加者の声 (抜粋)

● 私は実験をしたりするのが好きだったので、特に振り子やガウス加速器というのがとても楽しかったです。これからはやく役立てば良いなと思いました。また、いろいろな実験をしてみたいです。

● 金は、蛍光灯に当てると違う色になったのは感動的だった。鉄球は、磁石でも強い力で飛ぶことは驚きだった。

● 金の性質や特性、鉄球や振り子の特徴を知ることができ、理科の面白さがさらに分かった一日になりました。

● 今日初めて金を使って物を作ってみて貼るのはとても大変だったけど、とても楽しくて、とても良い体験ができて、うれしかったです。

参加者募集中!!

- 日時：平成24年2月12日(日) 13:00 ~ 16:30
- 場所：京都大学 吉田キャンパス北部構内 北部総合教育研究棟 201号室 市バス京大農学部前または北白川下車
- 対象：高校生
- 定員：20名
- 参加費：無料

■ 截金(きりかね)は、金箔を数枚焼き合わせて細く直線状に切ったものを、筆と接着剤を用いて貼りつけることによって美しい文様を表現する伝統的な技法です。

日本では、特に仏像・仏画の衣や装身具を装飾するためにさまざまな文様が発達してきました。

現代では仏像や仏画だけでなく工芸品として利用されることも多く、伝統産業として京の手しごと工芸品に認定されています。



- お申込み・お問い合わせ先： 京都府教育庁指導部 高校教育課 指導第2担当
TEL: 075-414-5854 FAX: 075-414-5847
E-mail: koukyou@pref.kyoto.lg.jp
- 主催：京都大学大学院理学研究科
- 共催：京都府教育委員会
- 協力：京都大学総合博物館

※本事業は、JST 科学コミュニケーション連携推進事業「機関活動支援」(機関連携型)の支援を受けて行います。

科学と伝統ものづくりをつなぐもの

参加費は無料です

■タイムスケジュール

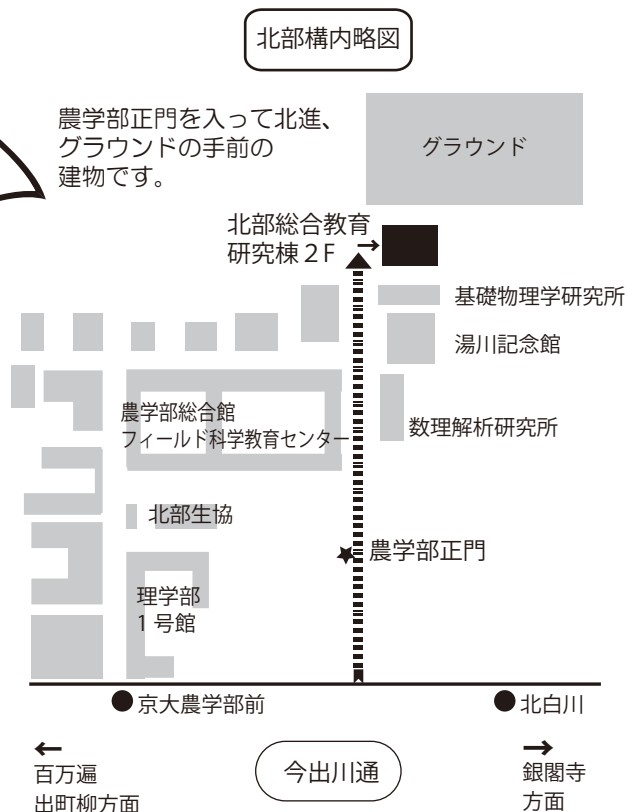
- 13:00 ~ 13:15 開会のあいさつ
- 13:15 ~ 13:45 金箔ができるまでと、その使われ方。細い金箔を貼る截金（きりかね）、金をパラパラまく砂子（すなご）、金をペツタリ貼る箔押し（はくおし）について。
- 13:45 ~ 14:30 截金の実演。砂子や箔押しを体験してみよう。作った砂子と箔押しのアイテムは持ち帰れます。
- 14:30 ~ 14:45 - 休憩 -
- 14:45 ~ 15:30 不思議な5つ球の振り子に触ってみよう。鉄球と磁石を使って、球を飛び出させてみよう。また、アルミの筒に磁石を落としてみよう。何か起きるか予想がつくかな！？
- 15:30 ~ 15:45 - 休憩 -
- 15:45 ~ 16:30 金箔をプラスチックの板にはさんでみよう。薄い金箔をきれいに貼ることができるかな！？
金箔を通して、蛍光灯を見ると色が変わるぞ。何色に見えるか想像できるかな？

- 講師：京都大学大学院理学研究科 研究員 常見 俊直
- 截金師：京都造形芸術大学 非常勤講師 池田 香那弥

■アクセス



農学部正門を入って北進、グラウンドの手前の建物です。



京都市バス“京大農学部前”または“北白川”下車
京都駅・四条河原町から17系統
地下鉄烏丸線今出川駅から203系統

京阪電鉄“出町柳”駅下車東へ徒歩約20分